

振動工具・刈払い機

2つの資格取得で正しい操作
 「振動工具」「刈払い機」取扱業者の安全衛生教育
 と き 2015年8月23日(日) AM9~PM7
 と ころ 東京土建多摩西部支部会館3階
 受講料 13000円(写真1枚)



発行所
 東京土建一般労働組合
 多摩西部支部
 昭島市中神町2-4-19
 電話 042-546-1577(代)
 発行責任者 白倉和行

『土建国保』を守ろう！ 厚労省宛予算要求ハガキを書こう！



▲7月8日に行われた予算要求対都行動・生活危機突破集会に支部から47人が参加

『土建国保』の財政の半分は「みなさんが払う保険料」と、「国・都からの補助金」です。「国や都からの補助金」が減らされてしまうと、必然的に「みなさんが払う保険料」が上がってしまいます。東京土建では毎年7月・11月の予算要求集会と「厚労省(7~8月)」「東京都(9~10月)」「財務省(11~12月)」へと請願ハガキの提出に取り組んでいます。

土建国保の運営を守り、保険料を値上げさせないためには、組合員・ご家族一人ひとりの協力が必要

不可欠です。各分会の到達状況は下表の通りです。玉川分会の297%に続いて、まずは分会200%をめざし、残り約1か月、まだハガキを書いていない組合員に呼びかけをおこなっていきましょう。



7月中に集まった3218枚

8月28日必着でハガキを支部に送って下さい。

厚生労働省宛はがき到達表

	砂川	けやき	高松	国立	立南	富士見	昭中	玉川	朝日	拝東1	拝島	事業所	直属他	合計
7/1組織人員	229	288	283	146	157	241	157	153	165	265	269	689	402	3444
200%目標	458	576	566	292	314	482	314	306	330	530	538	1378	804	8610
回収枚数	356	272	553	165	188	230	216	455	148	244	140	122	129	3218
回収率	155%	94%	195%	113%	120%	95%	138%	297%	90%	92%	52%	18%	32%	93%
目標達成までアト	102	304	13	127	126	252	98	-149	182	286	398	1256	675	5392



近頃、安倍政権が進める「戦争法案」にからみ与党議員に失言が目立つ。そんな彼らの言葉を読み解くと「国家が第一」と考えている節があり、国民は国家があってこそ。そして国家は選挙で選ばれた者が運営していくことが「民主主義」と思っていると感じてしまう。「民主主義」は国民主権で成り立っているはずである。国家という枠組みを先行させる考えは愛国心という考えを生み、愛国心はその他を排除する考えが生まれ、果ては自衛の為の戦争が生まれる。も

う一度「国民主権」に目をやれば数の力が民主主義の正義ではないと気付くはず。たとえ政権を握っていようと、法案を通せる議席数を持っていようと、あくまで「国民主権」こそ民主主義なのだから自身が選んだ議員だろうと、選んでいない議員だろうと、どのような政治を展開するのか注視し、間違った方向に進むことを正す権利を国民はもっている。政権を握ったから何でもしていい、自分の考えは正しいとおごるような考えの議員は総じて権力を持つ資格はないでしょう。

戦後70年「今」を考える

集団的自衛権容認根拠に砂川事件はなり得ない

安倍政権が押し進め衆議院を通過した「安全保障」関連法案。『集団的自衛権の行使』を含むこの法案は、憲法審査会で参考人を務めた憲法学者全員が違憲であると断言したことで国民の関心が増し、今日の年代・性別・地域問わず起きている反対運動のきっかけとなっている。この「違憲」に対し安倍政権は「憲法判断の最高権威は最高裁」。その最高裁による1959年の砂川事件判決で、自国の存立の為に必要な自衛措置は認められたことに触れ「最高裁のいう自衛権に個別的自衛権か集団的自衛権かの区別はない」と指摘し「日本の存立を根底から覆す場合」は「集団的自衛権を行使することは何ら憲法に反するものではない」と強調した。しかしこの最高裁判決は集団的自衛権については一言も触れられていない。



砂川闘争
米軍立川基地拡張反対運動に全国から集まる

砂川闘争は再び戦争を繰り返さない、国民主権を守る非暴力を掲げた平和運動

戦中帝國陸軍の基地であった立川基地は戦後米軍基地となる。1955年5月朝鮮戦争にむけ防衛庁調達局から収用法により基地を拡張し滑走路を延ばす通達がでる。このまま拡張されると砂川の町は二分される形になる。拡張予定地には130戸あり生活の中心地であった。国民の権利が奪われるという事は、国民主権に反し全国的な問題でもあると反対同盟ができる。同盟の中心的人物の一人宮岡正雄さんは闘争が始まるとすぐに六法全書を購入し毎日のように弁護士や裁判所で法律の解釈を学んだ。そこで拡張の為の測量には立会いが必要だという事を知る。

砂川闘争は戦後10年たった今だからこそ常に憲法9条、25条の精神、国民主権が根幹にあり非暴力を掲げた運動であった。幾つもの労働組合、全学連が協力してくれたがどこが主導権を握るとかでなく一つの想いで繋がることに宮岡さんは努めた。だからこそ女性も前面にでて活躍した。自分達は法を犯さず非暴力に終始したが警察側からの暴力に流血もあった。権力による圧力は強力で今なら5万出すからと賛成派を増やし立川基地関連で働いている人や労働組合員は不当解雇された。この間砂川闘争は20数件の裁判闘争も行っていた。こうすることにより

憲法9条が生んだ「伊達判決」

そもそも砂川事件とは、東京・米軍立川基地の砂川町などへの拡張に反対する「砂川闘争」の最中に起き1957年7月に反対派が基地内に立ち入ったとして日米安全保障条約に基づく刑事特別法違反で学生が裁判にかけられたことに端を発する。東京地裁の伊達秋雄裁判長は「外国との軍事同盟と外国軍隊駐留(=日米安保条約と米軍基地)は徹底した戦力不保持と交戦権の否認を規定した憲法9条に違反する」として全員無罪と判決した(1959年3月)。この判決に対し検察は最高裁に上告し、最高裁判決(1959年12月)で地裁判決は破棄差戻しとなり、差戻し審では有罪が確定となる。差戻し審でも争点は日米安保条約とそれに基づく米軍の駐留が憲法9条に反するか否かが判断されたもので、アメリカが攻められた時に自衛隊が参戦する集団的自衛権の話は全く出てこない。それどころか自衛隊という言葉も出てこず、また当時の岸首相(安倍首相の祖父)も集団的自衛権について「憲法上は、日本は持っていない」と1960年3月31日の参院予算委で答弁している。

砂川事件から見える米国に従属する日本

むしろ問題は安倍首相が主張している「憲法判断の最高権威は最高裁」の下した地裁判決破棄差戻しに米国の圧力がかけられていた事実である(米国立公文書館で発見された計3本の公電などで明らかにされた)。あらゆる権力・勢力から独立していないといけぬ日本の司法権が外国の権力に指揮されていた。砂川事件とは日本がいかに米国に従属しているかわかる事件なのである。

広く世間に知ってもらおう為だ。そのかいがあり世論は高まり測量中止となる。土地の収用をめぐる民事裁判、弾圧による刑事裁判と20年に渡る裁判闘争の中1969年に収用法中止、1976年敗戦当時無断占領された約3万坪の土地を返還させることができた。

拡張予定地に最後まで居住、土地を所有していたのは130戸のうち23戸だった。権力による弾圧の爪痕を象徴している。取材に協力して頂いた福島京子さん(宮岡政雄さんの次女)は「町は壊れたまま。戦争は簡単、平和は訴え続けなくては保てない、気づかぬうちに蝕まれてしまう」と語り父が9条の精神



は「人が人として生きていくこと」と話していたと伝えてくれた。

◀ 反対同盟象徴の旗と宮岡さんの次女福島さん

オスプレイが横田基地にやってくる

国立分会 小松 孝

7月16日(木) JR立川駅北口たましん本店裏に朝9時50分集合。台風11号接近に伴う大雨の中、参加者52人で大型バス1台に乗り、米軍横田基地へと向かいました。外側から周辺を見て来ましたがその大きさにびっくり。東京ドームの157倍、滑走路の長さは3,350mでほぼ南北に伸び、騒音が煩わしい。午後は支部会館で第2次新横田基地公害訴訟原告団への取材を行いました。今回の目的は、2017年横田基地に日本本土で初めてオスプレイが配備されるという計画を受けての現地視察、地元住民の方々のお話を聞くということでした。横田基地は極東における主要基地であり輸送中継

横田基地のオスプレイは部隊用機関銃も装備された特殊



OFの専用機関銃は、MV22Dの機内最後部に機関銃を装備して6.5mm口径で、必要に応じて対地射撃を行うことが可能。機関銃は下向き射撃専用で、6.5mm口径で、この機内飛行中は常に機関銃が稼働している。口径は12.40 7.62mm口径



第2次新横田基地公害訴訟原告団団長の野さん。低空飛行訓練の騒音・危険を語る

ハブ基地としての機能を有しています。また朝鮮戦争における国連軍の後方司令部も置かれています。2012年からは航空自衛隊の航空総司令部も常駐するようになり実質日米両国の空軍基地となった。オスプレイは2017年後半に3機を、'21年までに7機を追加し計10機を配備する計画としている。普天間基地の海兵隊使用(輸送用)のMV22より横田基地に配備される空軍使用(特殊作戦部隊用)のCV22は事故率が高いとされている。オスプレイは離着時の事故が多い。垂直から水平飛行のギア切り替えの時にバランスが不安定になる為起きる。横田基地が出撃基地になろうとしています。日本の陸上自衛隊にも'18年から5機を佐賀空港へ配備し最終的には17機を配備する予定です。離島防衛を睨んでのこととみられます。

第41回幹部学校

土建の若者達を戦地に送ってはならない

恒例の土建幹部学校が6月21日・22日の両日開催された。私は今回初めての参加でしたが、こんなに沢山の組合幹部を見たのは初めてなので正直驚いてしまいました。さすがにみなさん幹部だけあって意識もたかく、圧倒される思いの2日間でした。1日目の芝浦工大 蟹沢教授のお話も今後の建設業界の展望や後継者の問題までデータを交えかなり詳しく解説していただいた。そのまま受け容れられないところもありましたが、こう意義でのお話と理解できました。2日目は「憲法と平和を守る地域共同」と題して 九条の会事務局長東大教授の小森先生よりお話を聞きました。現政権の無謀ともいえる憲法解釈、その裏にある真実は確実に戦争に私達の子供達や土建の若者達を送る法案なのです、こんな悪法を許しては私達大人の責任において断固許す事は出来ないし、力を合わせ絶対阻止しなければならない。私達の周りの市町村でも「九条の会」が続々と発足しています、地域が力を合わせ政府に圧力を掛けていくことが重要です。現に地域議員の中にも超党派での反対称え協力している。私達も一人ひとりが真剣に取り組み、頑張って法案廃止に追い込みましょう。

最後にわが支部執行委員長鶴岡さんより《戦争をする国を許さない地域のたたかい》と題してお話がありました。今回出席して想像以上に中身の濃い大変有意義な2日間でした。(教宣部長 白倉和行)

立川でも「許すな!戦争する国」と1000人が集まる



地域から年代を問わず幅広い方達が集まる

7月19日午後1時30分から立川合同庁舎横の緑町公園で「ゆるすな!戦争する国7.19たちかわ大行進」と題して集会とパレードを行い、東京土建西多摩支部からは67人、全体で1000人の市民が集まりました。沖縄エイサーの太鼓と踊り、制服向上委員会からは、憲法をテーマにしたベートーベンの交響曲第9番の替え歌などで痛烈に今の政府を批判してくれました。集会は、呼びかけ人代表の鶴岡誠一さん(東京土建多摩西部支部委員長)のあいさつではじまり、各団体からのリレートークに移り「安保関連法案は憲法違反なのは明白。」「子どもたちが戦争に巻き込まれるかどうかの瀬戸際にたっているのに子どもの意見も聞かずに決めようとしていることに怒りを覚える。」「人の命を大切にしている医療者として戦争に加担する法案は許せない。」などのスピーチが行われました。

最後に「安保法制」の廃案と横田オスプレイ配備撤回」を求める決議を拍手で採択し、立川周辺をパレードしました。

青年部

狛江古代カップ多摩川いかだレース 企画賞受賞



▲力を合わせオールをこぎ



▲活躍を誓い一致団結!!



▶レース後は仲間と楽しく交流

自作のいかだで多摩川を下る「狛江古代カップ多摩川いかだレース」が7月19日(日)に開催され、東京土建多摩西部支部の宣伝活動として今年も青年部が参加しました。ユニークなオリジナルいかだが観客をにぎわせる中、我が青年部のいかだは2年連続受賞となる企画賞を受賞しました。レース後は狛江支部とBBQで交流を深めました。

青年部は、さまざまな企画をしています。学習会や仲間の交流会などを、自分たちで考えて取り組んでいます。30歳未満の方は是非、青年部に加入して一緒に多摩西部を盛り上げましょう!

たませいふ 女性の会のとりにくみ・・・



女性の会

Enjoy Summer

梅雨も明け、夏本番!!
のどが渇いていなくても水分補給をお忘れなく。

女性の会への

お問い合わせ先 042-546-1577:河村

活動者会議

日時: 8月26日(火)
10:00~12:00

場所: 多摩西部支部会館3F

会議の後に、ストレッチ体操教室を開催します。日頃、運動不足のお母さん、一緒に体を動かしませんか?

社保対と女性の会コラボイベント

成人病予防対策 料理教室

- 日時: 9月13日(日) 午前10時~12時
- 場所: 昭島市公民館実習室
- 参加料: 無料

先着35人限定!! 男性の方も大歓迎です♪
申込みは、電話・FAXにて、担当:河村まで

